

学習者用デジタル教科書普及促進事業

令和3年度予算額（案）

22億円

（前年度予算額

0.2億円）

資料1

文部科学省

背景

課題

- ・GIGAスクール構想により、**1人1台端末環境が早期に実現する見通し。**
- ・学習者用デジタル教科書は、学校現場において導入が進んでいない。（ICT環境整備や**有償での購入**等が課題であるため）
- ・新型コロナウイルスへの対応の観点から、学校教育におけるICT活用や家庭への端末の持ち帰りをより積極的に進める中で、ICTを活用した学びの出発点として、学習者用デジタル教科書は必須。
- ・骨太の方針や成長戦略において、「**デジタル教科書・教材の整備・活用の促進**」や**現行制度の在り方の見直し**を求められている。



児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、
学校現場におけるデジタル教科書の導入を促進

事業内容

①学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書 実証事業 2,033百万円（新規）

- ・1人1台端末の環境等が整っている小・中学校等を対象として、デジタル教科書（付属教材を含む）を提供し普及促進を図る。
- ・宿題など学校の授業以外の場でも活用できるよう、パブリッククラウドを使用した供給方式とする。
- ・大規模な提供に当たって生じる課題等について報告を求める。



対象
校種・
学年

原則国・公・私立の小学校5・6年生、中学校全学年、義務教育学校、中等教育学校（前期課程のみ）及び特別支援学校（小学部・中学部）の相当する学年

対象の
経費

小学校5・6年生及び中学校全学年の1教科分の学習者用デジタル教科書（付属教材を含む）経費

②学習者用デジタル教科書のクラウド配信に関する フィージビリティ検証 116百万円（新規）

- ・多教科のデジタル教科書を多数の児童生徒が同時に利用する際の円滑な導入・使用を担保し、ネットワーク環境等の改善を促すため、デジタル教科書のクラウド配信に関するフィージビリティ検証を実施。
- ・複数のモデル地域における比較検証を通してデジタル教科書のクラウド配信を進める際のコスト削減や望ましいシステムの在り方の検討を行う。

（スキーム）民間企業等に業務委託

③学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する 実証研究 65百万円（20百万円）

- ・実証研究校での詳細な調査によるデジタル教科書の使用による効果・影響の検証を実施。
- ・教員の授業実践に資するよう事例集や研修動画を作成。
- ・①の事業と連携して全国でアンケート調査を実施。初めて使用するケースを含む多数のデータを基に、効果検証や傾向・課題等の分析を行う。

（スキーム）民間企業等に業務委託